

2023年度一般財団法人兵庫勤労福祉センター勤労者意識調査

# 副業・兼業に関する インタビュー調査結果報告

一般財団法人兵庫勤労福祉センター

(調査実施：特定非営利活動法人ワーク・ライフ・コンサルタント)

# 調査概要

- **期間** 2023年10月
- **方法** 訪問による対面インタビュー

- **対象**

- **一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会**（東京都中央区）

フリーランス支援、調査・政策提言・企業に対するアドバイス

- **株式会社タスクールPlus**（名古屋市）

レンタルオフィス・コワーキングスペース運営、起業家支援、セミナー実施

- **株式会社エンファクトリー**（東京都千代田区）

オンラインショッピング、人材・組織開発支援サービス、専門家マッチング

- **調査項目**

- ① 兼業・副業許可制度の設計・運用面におけるポイント
- ② 兼業・副業に従事する際のポイント・留意点
- ③ 日本における兼業・副業文化の将来展望と課題

# 話題の焦点① 副業に従事する個々人は

## ■心構え

- ・「1社で生涯勤め上げる」という時代ではなくなっている
- ・「今や会社はすべてを叶える場所ではない」
- ・今後、専門性を身につけて成果を上げることは、会社員にもさらに求められる

## ■目的

- ・「収入」だけに目的を置く副業は厳しい
- ・副業の報酬は多様。やりがいを感じられることが大切
- ・収入目的なら、効率よく稼ぐ方法を実践する／報酬額のとらえ方を考え直す

## 話題の焦点② 社員の副業を認める企業は

### ■ 目的

- ・ 副業解禁は手段。それを通じて何を求めるのか  
採用？ 人材育成？ 社会貢献？ ……
- ・ 目的によって制度の設計・運用方法が決まる： 他社のやり方は参考まで

### ■ 管理

- ・ 社員が従事する副業の把握や管理は「不要」
- ・ 管理コストが増加するだけ／そもそも把握したところで何ができる？
- ・ 「雇用される副業は禁止」という方法もある

### ■ 経営者の意識

- ・ 副業人材は買い手市場： 経営者の偏見が活用意識を阻んでいる
- ・ 副業者に発注するには、ジョブの切り出しが不可欠

# 副業・兼業をうまく浸透させていくために

## 個人は

能力・スキル開発への自己投資を怠らず  
やりがいを原動力とした自主的な活動を

## 企業は

ただ「解禁」するだけではメリットは生まれない  
明確な目的と、「活用」する意識やインフラ整備も